

隼工新聞

学校活動
紹介通信
2020
11月号

「感染症対策」工夫し躍動 第四十四回体育大会実施

秋晴れが広がった十一月十三日、第四十四回体育大会が開かれました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で午前中からの開催となり、接触の多い綱引きなどの種目を減らすなどの工夫を凝らしたプログラムを展開。検温や三年生のみの家族の観覧制限を図るなど感染対策が施されました。

本校体育大会は学科対抗で行われます。朝から日差しが照りつける中、生徒たちは競技に汗を流し、熱戦が繰り広げられました。応援合戦では、各学科とも迫力のある演舞を披露し、応援に訪れた保護者らを沸かせました。様々な制約がかせられた体育大会でしたが、生徒たちは新しい様式での体育大会を見事に完成させることができました。



【体育大会結果】
競技の部 優勝 電子機械科二組
応援の部 優勝 インテリア科



計算技術競技五連覇！ 生徒発表大会

十一月十日、二十九回目となる鹿児島県高等学校工業クラブ連盟生徒発表大会が行われました。この大会では研究発表、体験・意見発表、作品展示とロボット競技、アイディアコンペ・再生部門競技、アイディアコンペ・クラブ部門競技、マイコンカーラリー競技、計算技術競技の五つの競技大会が実施されます。

例年は会場校で一斉に競技を行うのですが、今年は新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、オンラインにより各学校で競技を行うことになりました。本校が四連覇中の計算技術競技には県内十校十五チーム・六十人の生徒が参加しました。今年度も情報技術科でチームを編成し、生徒たちは五連覇へのプレッシャーと戦いながら、日々練習に励みました。結果としては、団体部門優勝の五連覇達成、個人部門でも一位から六位を独占しました。来年度も団体部門六連覇を目指して、頑張つてほしいと思います。



命の大切さを学ぶ 一年生 統一LHR

十月三十日、一年生を対象に「命の大切さを学ぶ教室」を開催しました。保護司である山下良一氏を講師にお迎えし、ご自分の体験をもとに講演をしていただきました。お姉様ご夫妻を交通事故で亡くされた経験を時折涙を流しながら、そのときの心情を思い出すように話される話し口は、本校生徒の心に響き、真剣な態度で聞き入っていました。山下氏のメッセージは、命の大切さを実感させてくれました。

学びの成果発揮！ 作文コンクール・写真展

拓殖大学主催「後藤新平・新渡戸稲造記念 第二十二回全国高校生・留学生作文コンクール」において、情報技術科二年の永吉さん（横川中出身）が奨励賞（総応募数二千四百九十七編のうち、上位十位（三十位相当の賞）を受賞しました。作文の統一テーマは、「ようこそ日本。こんにちは日本。」で、SDGsの観点から自分の考えを述べるというものでした。

また、鹿児島県内二十八校六百五十四点の作品が展示された第二十八回鹿児島県高等学校写真展に、写真部の生徒二人の作品が入賞し、電子機械科二年の坂元さん（日当山中出身）の作品に関しては、大賞・準大賞に次ぐ高文連賞を受賞しました。受賞された生徒の皆さん、おめでとうございます。

学校の旬を伝える
隼工新聞

製作：教務部広報渉外係

令和2年度 隼工祭・隼工展開催 12月18日（金）に隼工祭・隼工展を開催します。
※毎年楽しみにされていた方も多い本校のイベントの一つですが、今年度につきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者及び一般の方々の入場はできません。ご理解をお願いします。